

大阪・関西万博を契機に 人を呼び、地域とつながろう



はしがが楽しい「食都」天満エリア © 京阪神エルマガジン社

きらめく「御堂筋イルミネーション」 ※2024年度の様子 © 大阪・光の饗宴実行委員会

「水都大阪」を象徴する中之島の夜景 © 水都大阪コンソーシアム

4つの柱

1 異業種連携による
新たな価値創造

2 旅マエ・旅ナカの
関西エリア情報発信

3 移動とあわせた
ナイトエコノミー活性化

4 アクセス利便性向上・
サービス拡充

大阪・関西万博を契機としたエリア活性化のために



大阪・関西万博における
JALグループの取り組み

食の街・水の都 大阪の魅力発信

ふたつめは、地域活性化プロジェクト「大阪サン・セバスチャン」の推進です。団体やパートナー企業と協働し、世界に誇る食の都・大阪の楽しみ方をプロデュースしていきます。西日本JRバスが運行するオープントップバスと連携し、ほんとうの大阪らしさが見つかるとナイトツアーを企画。スペイン・バスク地方の美食の都サン・セ

バスク地方の美食の都サン・セ

バスチャンでバルホッピングを
楽しむように、天満エリアの飲
食店をはじめ、北浜エリアの話
題の店や、日本最大級の噴水シ
ョーなどの水辺のライトアップ
イベントを巡り、中心エリア外
への周遊促進とナイトエコノミ
ーの活性化を図ります。また、
関西私鉄・バス7社のデジタル
乗車券サービス「スルッとQRto
(クルット)」との連携や、「JAL
手荷物宅配・配送サービス」
の拡充により、「JAL Maas」を
活用した移動にまつわる利便性
の向上にも努めます。

⑤

地域の食を通じた 感動コンテンツ

ひとつめは、地域の名産品を
提供する2階建て「レストラン
バス」の運行です。これは万博
会期中、食を軸に地域の魅力を

発信する新たなコンテンツです。
各地の料理人の協力の下、地域
食材を使ったメニューを車内の
キッチンで仕上げ、天井を開放
した2階のダイニングエリアで
お召し上がりいただく趣向です。
4月後半からの2か月間は、和
歌山の旬の果物をテーマに「観
音山フルーツパーラー銀座店」
が提供するパフェを楽しんでい
ただきながら東京都内を巡りま
す。その後もテーマを変えてレ
스토랑バスを各地に展開し、
「観光」「食」「移動」を融合させ
た感動体験をきっかけに、それ
ぞれの地域のファンを増やし、
次の旅への契機をつくることを
目指します。

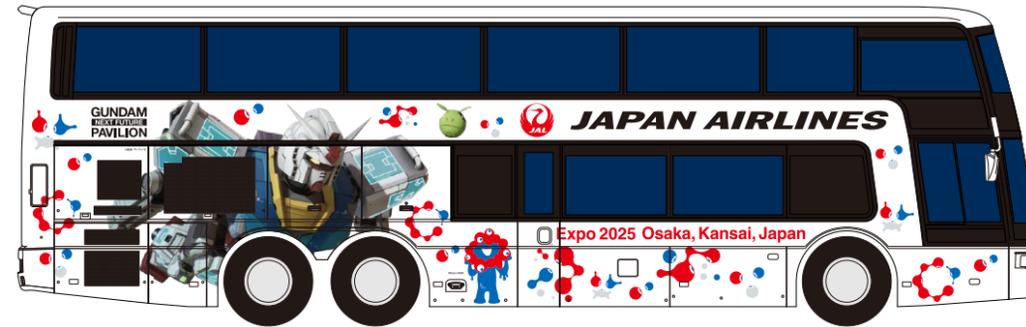
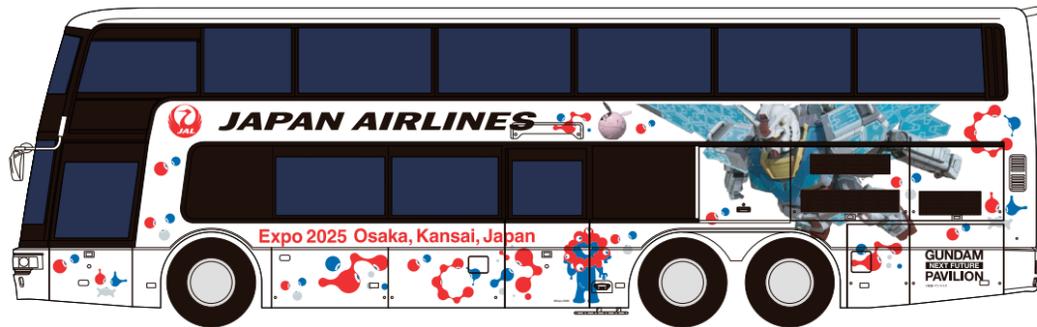
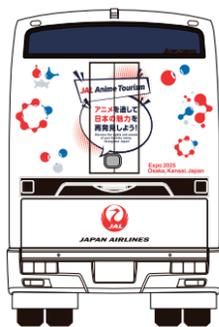
このレストランバス、車体にも
ぜひご注目ください。3月に
就航した大阪・関西万博仕様
「JALガンダムJET」同様、
万博に民間パビリオンを出展す
るバンダイナムコホールデー
ンガスとのコラボレーション企画

レストランバス

Back Side

Left Side

Right Side



© 創通・サンライズ © Expo 2025

今回のテーマに該当する目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。

